

第39回松永杯中西部少年サッカー選手権大会 兼 NTT西日本グループカップ第53回静岡県ユースU-12サッカー大会中西部予選 要項

趣 旨	静岡県の将来を担う少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことの出来るようサポートする。子供たちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっているよう、文化として醸成していくことを目指す。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
協 賛	NTT西日本静岡支店 NTTネオमित NTTマーケティングアクト NTTフィールドテクノ NTT西日本アセット・プランニング テルウェル西日本
期 日	2020年11月28日(土)、29日(日)、12月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、19日(土)
会 場	1次リーグは各地区会場 2次トーナメント及び松永杯トーナメントは榛原地区内グラウンド(予定)
参 加 資 格	① 本大会の趣旨に賛同し、第4種加盟登録した団体(チーム)であること。(準加盟チーム含む) ② 上記団体(チーム)に所属する4年生以上の選手であり、(一財)静岡県サッカー協会4種委員会各地区の予選を経たチームであること。 ③ 選手は個人登録しており、スポーツ安全保険に加入していること。 ④ ベンチに入る監督、コーチは、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有しなければならない、首からかけておくこと。 ⑤ 地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、2チームとも中西部大会に参加する場合は、その2チーム間で選手の入替えはできない。地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、どちらか1チームが中西部大会に参加する場合は、元の選手は入れ替えられないが、25人登録の空いている人数だけ、参加しないチームから追加ができる。
参 加 チーム	全日本県大会出場3チーム(シード)、焼津地区5チーム、藤枝地区7チーム、島田地区6チーム、榛原地区3チーム 計24チーム(県大会出場枠:11チーム)
参 加 費	3,000円/チーム
チーム編成	代表者1名・監督1名・コーチ5名・医療従事者1名・選手8名以上25名以内とする。 メンバー表提出時にコーチ3名と選手16名を決定し大会本部に提出する。
競 技 方 法	① 3チーム8ブロックの1次リーグ戦を行い、各ブロック1位の8チームが県大会出場、各ブロック2位チームの8チームで2次トーナメント戦を行い、上位3チームが県大会出場とする。また、松永杯トーナメント戦は、各ブロック1位の8チームでトーナメントを行う。(県大会枠の抽選は、松永杯トーナメント終了後、会場で行う) ② 試合時間は、前半20分(ハーフタイム5分)後半20分とする。ただし、松永杯トーナメントは前半15分(ハーフタイム5分)後半15分とする。 ③ 1次リーグ戦は、同点でも延長は行わない。リーグ戦の順位は(1)勝点<勝3 分1 負0>(2)当該チームの対戦成績(3)得失点(4)総得点(5)抽選の順により決定する。 ④ 2次トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、5分のインターバル後、10分間(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は、1分間のインターバル後、PK方式(3人)で決定する。また、松永杯トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、1分間のインターバル後、PK方式(3人)で決定する。
競 技 規 則	① (公財)日本サッカー協会8人制競技規則及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会要項並びに県大会試合細則に準ずる。 ② 選手交代は交代ゾーンを設ける。また、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める) ③ ベンチに入る交代要員はピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ビブス可) ④ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのまま、他の選手と重複しない番号あるいは番号なしのFPのユニホームを着用する。 ⑤ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ビブスも可とする。 ⑥ 退場者があった場合は控えの選手を補充できる。 ⑦ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。また、リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。 ⑧ 地区大会を通じて、退場を命じられた選手及び警告累積2回を受けた選手は、次の1試合に出場できない。 ⑨ ピッチサイズは縦60～68m×横40～50mとする。ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。 ⑩ グリーンカード制度を導入する。
審 判	① 2人審判制とし、主審及び補助審判員とも3級以上とする。 ② 1次リーグ戦及び2次リーグ戦、松永杯トーナメント戦と、全てはチーム帯同(ベンチ入り可)とする。 ③ 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態にしていること。(審判着のままベンチに入ることは許されない。)
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの胸又はパンツの前面(前側面)に付いた完全に異色のユニフォームを2組(正・副)用意することが望ましいが、ない場合はビブスでも可とする。 ② 背番号は1～99の整数を使用し、0.00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。 ③ 縦縞、横縞のユニフォームは台地を使用し背番号が明確にわかるようにする。 ④ シャツ(GK含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
試 合 球	公認4号球を各チーム持ち寄りとするが、会場によっては本部が用意することもある。
表 彰	松永杯トーナメント戦の優勝チームに、賞状、トロフィーを授与する。また、2位・3位のチームも表彰する。
閉 会 式	大会全試合終了後、松永杯トーナメント戦の閉会式を行う。
そ の 他	① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。また、試合開始10分前に選手は本部へ集合し円滑な試合進行に協力する。 ② 試合開始・試合終了時のセレモニーは行わない。円陣も組まないこと。 ③ エントリーされた選手・代表者・監督・コーチはJFAが公式に認める電子登録証(選手証又は登録選手一覧・公認指導者ライセンス証)を印刷したものを持参し、会場でチェックを受けなければならない。ただし、登録選手一覧には顔写真登録がされていること。電子登録証(選手証・公認指導者ライセンス証はD級コーチ以上を有する)を確認できない選手・監督・コーチはベンチ入りできない。 ④ 選手・指導者ともにベンチ内では一定の距離を確保すること。一定の距離が確保できない場合は、マスクを着用すること。 ⑤ 試合終了後は相手チームベンチへあいさつに行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空けること。 ⑥ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ⑦ 本大会はマッチウエルフェアオフィサーを置く。 ⑧ 本大会は飲水タイムを設けないが、ピッチサイドには給水用のボトルを置くことが出来る。 ⑨ 大会要項及び県4種委員会県大会試合細則に規定されていない事項は、中西部支部4種委員会にて協議の上決定する。 ⑩ エントリー表は受付時に1部提出し、選手チェック用とする。また、試合開始30分前までに先発メンバーを記入したエントリー表を本部と相手チームに各1部提出する。 ⑪ 各地区の4種委員長は、地区大会で使用したメンバー表及び地区大会での警告・退場者を、当番地区の4種委員長に提出する。 ⑫ 新型コロナウイルス感染対策のため、大会当日に大会参加同意書(様式1)及び健康管理チェックシート(様式3)を本部に提出すること。また、選手・指導者(代表者・監督・コーチ)・医療従事者・審判員は大会2週間前より体温をチェックすること。